

## 三重県立四日市農芸高等学校

URL : <http://www.mie-c.ed.jp/ayokka/wp/>

## 活動紹介

## ■活動場所

かなししょうす  
金生水沼沢植物群落

## ■活動日、活動頻度等

2ヶ月に1回

## ■活動内容

数年前より金生水沼沢植物群落の保全活動に協力してきたが、今年はなかなか希望者が集まらず、活動に協力できなかった。課題としてあげられるのは、やはり湿地の保全活動といっても管理作業が中心になることである。結果として、生徒たちに興味を持ってもらえない状況になってしまった。課題研究でテーマ設定しても、人が集まらない。7月には、総合実習の時間にサギソウの観察をさせていただいたが、やはりバラやカーネーションのような華やかさはない。植物の観察をするなかで、興味が持てるようにお話を聞かせてもらっているが、生徒たちの反応が以前に比べて今ひとつ良くない。

そんななか、今年は、新たな取り組みとして多度のイヌナシ自生地の保全活動に参加した。国指定天然記念物として保護されていることもあり、私としてはいつもとやや違う景観に興味を湧いた。当日は、管理作業だけではということで、生徒たちは獣害対策ネットも張らせていただいた。今後も、こうした自然にふれあう機会をつくっていきたいと考えている。



## 代表者の想い

これまで、金生水沼沢植物群落の保全活動だけでなく、イヌナシ、アイナシの保全活動、シデコブシの調査、御池沼沢植物群落の保全活動など精力的に取り組んできた。そのなかで、その成果がすぐにはみえないこともあり、活動が停滞している現状にある。草刈りをして、アルバイトのようにお給料がもらえるわけでもないこともある。

学校のある河原田の里山も、ミカン栽培の後継者が育たず、竹林がどんどん広がっている。このままでいいのだろうかと思う。お金では買えない心の豊かさを育むためにも環境保全活動に今後も協力していきたい。

## PR

四日市農芸高校は、地域に愛される農業高校を目指し、地域のイベントに声をかけていただければ積極的に参加している。農業学科には、食料生産、施設園芸、食品科学、食品開発、造園技術、自然環境の6つのコースがあり、それぞれの特色をいかした学びがそこにある。環境教育に力を入れようと言うことで始まったISO14001の認証取得のとりくみは、今年度で最後になったが、これからも、これまで培った知識と技術を大切にしながら頑張っていきたい。